

小郡市観光大使
オリリン



小郡と七夕の関わり

問 商工・企業立地課商工観光係 ☎72-2111

小郡市観光大使
ヒコリン



市は、七夕神社や古くから伝わる七夕信仰を生かし「七夕の里おごおり」を市内外にPRしています。「小郡と七夕」にまつわる、その由来や子どもたちとの関わりなどを紹介します。

小郡市が“七夕の里”と呼ばれる由来

市内には、宝満川をはさんで織女神(織姫)をまつる媛社神社(七夕神社)と犬飼神(いぬかいしん)(彦星)をまつる稲吉老松神社があります。それがまるで天の川に隔たれた織姫と彦星の物語のようであることから、小郡市は「七夕の里」と呼ばれています。

また、日本では織物の神として「棚機津女(たなはたつめ)」という機織りの女神が信仰されていました。しかし「七夕(しちゆう)」の文化が中国から伝来すると、それらが混ざり、「七夕(たなばた)」となって新たに根付いていきました。古来より織物が盛んであった小郡では、織物業に携わっていた人々が七夕の主な担い手となり、それらが七夕神社などの形になって現在に伝わったと考えられます。



媛社神社(七夕神社)



稲吉老松神社

友好のまち 沖縄県本部町の願い

平成29年に小郡市と沖縄県本部町、(一社)みい青年会議所、本部町商工会青年部の4者で「友好のまち協定」を締結しました。協定に伴い、本部町からはシーサーが贈呈され、小郡市は楷の木(かいのき)の苗木を贈呈し植樹されました。

植樹から5年が経ち、楷の木は本部町役場の庭園で元気に根を張り、町民を見守っているそうです。



本部町の皆さんからのメッセージ

「小郡市と本部町の子どものための
健やかなる成長を願います！」

七夕と子どもたち

この時季、御原保育所の年長クラスでは、たなばたさまの歌をみんなで毎日歌っています。この日は、笹を彩る天の川を折り紙で製作。飾りや短冊をつるした笹は、子どもたちが持ち帰り、自宅でも七夕を楽しんでいます。



はさみを上手にを使って天の川を作りました♪

7・8月の七夕イベント

七夕の里おごおり2022

七夕の里おごおりで、その由来や風習を感じてみませんか。

福岡よかもんひろば
(県庁11階)にも
出張設置します！

①七夕笹設置

期間 7月1日(金)～8月7日(日) ※感染症の影響により変更になる場合があります
会場 各コミュニティセンター、市役所本館、おごおり情報プラザ

②七夕神社の夏祭り

祭りに合わせて短冊が境内いっぱい飾られ、賑やかになる七夕神社。8月6日に子どもみこし、8月7日が祭り本番で、出店やステージで盛り上がります。8日には全国から奉納された短冊のお焚き上げが行われます。

期日 8月7日(日)
会場 七夕神社



埋蔵文化財調査センター
イメージキャラクター
つこっこ

問 (一社)小都市観光協会 ☎72-4008

甘木鉄道の七夕装飾

松崎を中心に活動している「松崎花壇部」が、甘木鉄道の車両と松崎駅を七夕色に飾り付けます！

期間 7月7日(木)～8月7日(日)予定



「七夕の里おごおり」パネル展

小都市の地形や歴史、習慣などをパネルで紹介しします。また、会場内には七夕笹も設置します。願いごとを書いた短冊を飾ってみませんか。

会期 7月4日(月)～10日(日)
時間 10時～18時(10日は16時まで)
会場 アクロス福岡1階コミュニケーションエリア

問 アクロス福岡文化観光情報ひろば
☎092-725-9100

第12回七夕俳句

七夕にちなんだ俳句を募集します。七夕に思いをはせて一句詠んでみませんか。

募集部門 一般の部(高校生以上)
中学生以下の部

※ひとり1句まで

表彰 選句会を開催し、特選・入選作品を選句

参加費 無料

応募方法 郵送・ファクス・Eメールで

①俳句②氏名(ふりがな)③年齢④住所
⑤電話番号を明記し、申込み

応募締切 8月7日(日)必着

申問 (一社)小都市観光協会
「七夕俳句」係
☎72-4008 ☎80-0284
〒838-0142 小都市大板井267-4
✉tanabata-haiku@tau.bbq.jp

宝満川
ふと見上げると
天の川